

庁議の概要

開催日 平成27年8月31日（月）

◎項目

- 1 「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度版）の改定について
【産業振興推進部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

- 1 「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度版）の改定について【産業振興推進部】

産業振興推進部から「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略＜平成27年度版＞」の改定について、資料を配付の上、概要説明及び協議が行われ、内容が決定された。

＜主な協議の概要＞

（産業振興推進部：説明）

「まち・ひと・しごと」創生総合戦略については、7月29日の産業振興計画推進本部会議で高知県の人口の将来展望などを盛り込んだ改定素案を策定、その後パブリックコメントを行い、そのご意見を踏まえた改定案を8月22日の第4回本部会議で策定した。この改定案については、8月24日開催の産業振興計画のフォローアップ委員会において、今後の施策のバージョンアップが必要といったご意見もいただきながら、ご了承をいただいたところ。また、26日には県議会の産業振興土木委員会でもご議論いただき、働く場の確保の必要性や、執行部と議会が車の両輪となって取り組みを進めていこうといったご意見をいただいた。

今回の改定のポイントの一番大きいものが、人口の将来展望を設定したということ。

人口の将来見通しについて、これまで同様のトレンドが続くと2060年に39万人まで減少するという見込みで、一連の対策を今後講じることによって、将来の人口展望、見通しを55万7,000人というレベルを目指そうというもの。類似の県に比べてもかなり高い、意欲的な目標設定になっている。

自然増減に関しては、国の長期ビジョンと同様に、2040年にまずは人口置換水準の2.07まで段階的に回復することを目指していくが、その後、県民の皆様の結婚・出産の希望を叶えることを目標に置き、2050年に2.27まで上昇させる。

今回少子化に関する県民意識調査を実施した。この中で特に「結婚の希望」のある方の結婚希望をかなえること、「第1子の欲しい年齢」の全体29.3歳という希望について、現状30.95歳を1.65歳ほど前倒しできれば、2.27が実現できる。

県外大学生の就職に関する希望について、県外大学生の県内就職希望が51%に対して現状は13.6%と4分の1しか希望が叶っていない現状も把握された。こうした就職に関する希望を叶えること、県内学生の県内就職の希望を高めること、さらに移住の取り組みも強力に進めることで、2040年に年間1,000人の社会増を目指すという目標とした。

この将来展望が実現すると、近い将来において人口構造が若返る。これは 2020 年から年少人口割合は上昇に、それから 2040 年から老年人口割合が低下、さらに 2045 年からは生産年齢人口割合が上昇するということで、将来にわたって活力ある持続可能な社会を実現することができることになる。

改定の内容は、主にこの人口の目標設定に関わる部分を補足あるいは追記をしたもの。
(知事)

では、この総合戦略の実行に全力を挙げて取り組んでいきましょう。

2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ DMV（デュアルモードビークル：軌道と道路の双方を走行できる車両）について (中山間対策・運輸担当)

9月2日に阿佐海岸鉄道株式会社の会議で徳島に行く。先日JR北海道が断念したとの報道があったDMVについて、徳島県と阿佐東線への導入計画の今後の対応などについて協議を行ってくる予定である。

(知事)

徳島県知事から連絡をいただき、阿佐東線について徳島県知事の発言にベクトルを合わせてやっていきたいと思うという私の記者会見の発言を大変嬉しく思いますということだった。また、ぜひ連携して、JR四国も巻き込んでDMVをやっていきましょうという話であった。そういう話があったことを踏まえた対応をお願いする。

(中山間対策・運輸担当)

分かりました。

(知事)

何らかの形で検討を続けられればいいが。

○ 企業誘致の情報共有について

(商工労働部)

企業立地の取り組みを積極的に進めている中で、全庁的に情報を共有する具体的な取り組みを検討しており、先週木曜日に産業関係部局の副部長を集めた第1回目の「企業立地推進会議」を開いた。これから拡大再生産や増設の取り組みをする企業、コンテンツも含めた事務系の企業の誘致、一次産品を使った加工等の取り組みといった情報について、共有し、一緒になって企業立地に向けた支援をしていきたい。会議の中では、産業関係の情報は分かっているけど企業立地のノウハウが分からないといった意見があり、強力に進めるべきだと思ったところ。

以降、情報共有を含めた具体的な取り組みについて、また連絡をするのでよろしく願います。

(知事)

ほぼ全部の部で可能性はあり得る。その萌芽を見つけた、可能性があると思った場合、

環境を整備し熟度を上げて提案してこそやっとうということも多いと思うので、まずは情報共有をし、関係部局の知恵を上げて誘致や増設に向けての環境整備の熟度を上げていく。相手の会社にとっての業績向上に向けての環境整備がしっかりできてこそ、企業立地も叶うということになるので、そういうコンサルティング的な機能を果たさないといけない。まずは情報共有を図らなければならない。ぜひそここのところを徹底していただきたい。

(商工労働部)

各部局から大変いい意見をもたらしている。一緒にやろうという雰囲気をもたせていきたい。

(知事)

観光や、医療・福祉、防災関係でもあるかもしれない。いろいろな可能性があり得る。

○最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

産業振興計画と日本一の健康長寿県構想は、フォローアップ会議に向けて、この3年半の総括とバージョンアップについて検討をしているが、フォローアッププロセスにおいていろいろな方のご意見をぜひ聞いてほしい。特に産業振興計画について、その点をよろしく願います。その意見を柔軟に吸収して、次のバージョンアップの検討に活かしてもらいたい。

最終目標の実現に向け、一層効果のある政策となるよう、磨き上げや検討に重点を置き、周辺部というより骨太のど真ん中に効いてくるような政策を追求してもらいたい。